



がっこう
学校だより

がっこう
5月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/toyooka/>

TEL 045-581-3248

がっこうきょういくもくひやう
学校教育目標：【学び合い 高め合い まちとともに明日を拓く豊岡っ子】

バトンがつながる

こう ちょう なりた れいこ
校長 成田 玲子



バラの苗を2本いただきました。このバラは「はまみらい」といって、横浜開港150周年記念のバラとして、平成19年に選定されたものだそうです。はまみらいは、こども植物園や山下公園などでも育てられています。

苗をいただいたのは昨年度校庭のフェンス工事が始まる時だったので、工事が終わるのを待って校庭の花壇に植えました。まだ小さな苗なのですがかわいらしいピンク色のつぼみを付け、ついに美しい花を咲かせました。今年は開港162年ですので選定されてからもう12年になります。はまみらいが市内の様々なところで大切にされていることは素敵なことだと思います。はまみらいが豊岡小学校の花壇でも元気に育ち、たくさん

の花で多くの人の目を楽しませてくれるようになるのが待ち遠しいです。

新年度がスタートし1か月たちました。先月号にも書いた通り、少し不安な気持ちで新年度を迎えた子もいたのではないかと思います。少しずつ新しい学級にも慣れてきたのではないのでしょうか。

始業式翌日から、6年生が1年生のお世話をしてくれています。まだまだ学校生活に慣れない1年生を優しく助けてあげる役目です。様々な場所でお世話をしてくれているのですが、正門前で立って立っている6年生は、けがした子を保健室へ連れて行ったり不安そうにしている子と一緒に昇降口まで行ってあげたりと大活躍です。

先日、保護者の方に「1年生に優しくしてくれてうれしいです。」と書いていただきましたので、低学年のときに優しくしてもらった経験をしてきた子どもたちは、自分が高学年になると、今度は優しくお世話をする側にまわるといって話をさせていただきました。学校という社会の中で、バトンが自然と引き継がれていくのです。もちろんこれは、6年生と1年生だけの話ではありません。委員会活動やクラブ活動、たてわり活動など異学年での継続的な活動から多く育まれていくものです。してもらってうれしかったことを子どもたちは忘れません。そんな思いを子どもたちに気づかせてあげると、バトンがしっかりと引き継がれていくようになるのだと思います。

先日、1年生を迎える会を行いました。感染症対策のため子どもたちの間隔をとり、校庭で行いましたので、例年より少し広がった感じの会になりましたが、内容は、どの学年の子どもたちも1年生を優しく迎えようという気持ちのあふれるものになりました。朝、手をつないで登校していたり、休み時間に声をかけ合ったりする姿が見られるなど、豊岡小学校で長年引き継がれてきたやさしさのバトンは、今年の子どもたちにもしっかりとつながっています。様々な活動の中で、ますます子どもたちがやさしさを発揮してくれることを楽しみにしたいと思います。